

平成23年度東郷湖活性化プロジェクト推進会議 事業一覧

分野	no.	事業名	関係課	実施主体	備考
環境	1	水草肥料化調査	町民課	東郷池の水質浄化を進める会	
	2	東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進	町民課	東郷池の水質浄化を進める会	
	3	水質浄化覆砂事業及び効果検証	建設水道課	鳥取県	
	4	シジミの生息環境改善対策	産業振興課	東郷湖漁業協同組合	
	5	内水面の環境保全	産業振興課	東郷湖漁業協同組合	
	6	稚魚放流調査	企画課	東郷湖・天神川サケの飼育放流プロジェクト	
観光	7	池の産物料理メニュー化促進	産業振興課	湯梨浜町商工会地域活性化委員会	
	8	カニバス事業	産業振興課	はわい温泉・東郷温泉旅館組合	
	9	特産品販売促進活動	産業振興課	産業振興課	
	10	観光商品造成戦略活動	産業振興課	産業振興課	
	11	燕趙園遊覧		燕趙園	
	12	道の駅燕趙園	産業振興課	燕趙園	
	13	ホワイトライアスロン in 湯梨浜	産業振興課	ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会実行委員会	
	14	湯梨浜夏まつり	企画課	湯梨浜夏まつり実行委員会、燕趙園	
	15	中華コスプレ・プロジェクト		中華コスプレプロジェクト大会事務局	
	16	東郷湖ドラゴンカヌー大会		東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局	
産業	17	水源域森林育成作業	産業振興課	産業振興課	
	18	エコファーマーの推進	産業振興課	生産者	
資源	19	観光ルート整備	建設水道課	建設水道課	
	20	東郷荘絵図活用導入事業	生涯学習・人権推進課	生涯学習・人権推進課	
	21	ゆりはま塾	企画課、生涯学習・人権推進課	企画課	
	22	藤津公園の地盤沈下対策	建設水道課	鳥取県	
—	23	東郷湖活性化プロジェクト推進会議	企画課 他	東郷湖活性化プロジェクト推進会議	
	23-1	東郷湖・未来創造会議	企画課（全課）	東郷湖・未来創造会議	

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	水草肥料化調査												
	関係課	町民課				関係者		実施主体	東郷池の水質浄化を進める会					
	実施計画	東郷池に繁茂する水草が枯れて腐敗し、水質の悪化を招く前にこれを取り出すことにより、池内の富栄養化物質の除去を行う。また、刈取った水草は肥料として利用して環境学習や自然保護への啓発とする。平成23年9月下旬刈取り。実施時期や刈取量については、生態系に配慮し、各機関と協議の上で決定する。						財源の確保			鳥取県みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金 事業費 350,000円 補助率 県1/2 町1/2 平成23年5月31日交付決定済			
1	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画		鳥取県に補助金交付申請		参加団体等と実施方法検討	水草刈取打合せ会実施		水草刈取実施	水草肥料・水草バーク材の配布		保育所・学校等で肥料利用		
		実績		鳥取県に補助金交付決定		水草の発生状況調査		水草刈取中止決定						
	実施の方針	鳥取県補助金を受けて実施（補助率 県1/2 町1/2）生態系に配慮し、水草の発生量に応じて刈取量を決定。環境学習としての効果を得られるよう、参加団体等の意見を取り入れながら事業を計画する。刈取りによって得られた水質浄化効果については広報を行う。						進捗状況・実績（事業効果）			◆平成23年6月1日現在 鳥取県補助金交付決定 ◆平成23年8月～9月 東郷湖漁協に水草発生状況の調査をしていただく。池内を船にて観察しても、水草がほとんど見られないことが判明。衛生環境研究所、東郷湖漁協の見解では、塩分濃度が高かったため、水草が発生しなかったのではないかと推測されるとのこと。刈り取る水草がないため中止する。 ◆水草の刈取りができなかったことは、取り組み4年目にして初めてであった。今後、水草の状況を関係機関に協力を求めながら観察していく。			
	事業の目標	◆刈取量2t以上 ◆刈取量全量を肥料や土壌改良材としてリサイクルする。						目標に対する達成度			水草刈取りを中止			
	現在までの評価	-						最終評価			-			

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進												
	関係課	町民課				関係者					実施主体	東郷池の水質浄化を進める会		
	実施計画	住民活動により池周辺の環境美化を推進する「東郷池を守り育てるアダプトプログラム」を年度を通じて実施する。 平成23年6月町報でアダプトプログラム活動を周知。 平成23年度を通して、新規団体の勧誘を実施。 参加団体の活動が円滑に進むよう、ごみ袋・軍手の配布やごみ収集を行う。						財源の確保				鳥取県みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金 事業費 350,000円 補助率 県1/2 町1/2 平成23年5月31日交付決定済		
2	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	各団体に前年度実績を照会	鳥取県に補助金交付申請	町報に前年度実績を紹介					活動支援・新規参加団体勧誘・広報				
	実績	各団体に前年度実績を照会	鳥取県に補助金交付決定	町報に前年度実績を紹介					活動支援・新規参加団体勧誘・広報					
	実施の方針	鳥取県補助金を受けて実施（補助率 県1/2 町1/2）活動を町報等で周知するとともに、年度を通して参加団体の勧誘を行う。 また、参加団体と連携を取りながら、活動しやすいよう支援を行っていく。						進捗状況・実績（事業効果）				◆平成23年6月1日現在 鳥取県補助金交付決定 ◆6月号町報アダプトプログラム記事掲載 ◆町報9月号で新規団体の紹介。 ◆平成23年度実績 参加団体25団体（前年度比3団体増） 清掃回数77回（前年度比24回増） 参加者数836人（前年度比119人増）		
	事業の目標	◆参加団体25団体（3団体増） ◆参加者数前年度（700人）以上						目標に対する達成度				◆参加団体の増 達成率100% ◆参加者数 達成率120%		
	現在までの評価	-						最終評価				目標達成の要因は、参加団体の活動意欲高かったため。東郷池環境保全への意識が高く、清掃活動・参加者ともに増となった。今後も、個別勧誘と制度の周知により活動の拡大に努める。		

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質 (COD) 4.5mg/l

No.	取組名	水質浄化覆砂事業及び効果検証													
	関係課	建設水道課					関係者	鳥取県			実施主体	鳥取県			
	実施計画	水質悪化の原因となるヘドロを砂により封じ込めることにより、透明度の拡大、貧酸素影響の低減、悪臭発生の減少等の水質環境の改善を図るもの。 昨年度で覆砂工事は終わり、今年度は引き続き調査及び効果検証を行う。平成21、22年度に施工した覆砂の効果の検証を底質、水質、底生生物の調査により引き続き実施する。						財源の確保			(県事業) 予算額：8,764千円				
3	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画		打合せ会						中間報告会					最終報告会
		実績		打合せ会							中間報告会				最終報告会
	実施の方針	覆砂施工により底質及び一部において底生生物に改善が見られたが、その効果及び持続性を検証するために継続して調査を行う。 以下の項目について、調査・検証を行う。 ・水質 ・底質 ・底生生物 ・溶出速度 ・酸素消費速度					進捗状況・実績 (事業効果)			覆砂工事は、平成21、22年度に水深3.5m以深の0.10km ² に実施した。 平成21～23年度に効果検証を実施しており、平成24年度も継続して行う。 ※現時点での調査結果のまとめは以下のとおり。 ・水深が深い覆砂施工区中央部(水深約3m)よりも水深が浅い試験施工区(設計水深2m)のほうが良い結果が得られている。 今後覆砂を行う場合は、貧酸素化の影響を受けにくい浅場を拡大し、生物の生息環境の創出に注目した施工方法を検討することが必要と考えられる。					
	事業の目標	◆覆砂による効果を検証する。 (覆砂による水質及び底生生物の改善)					目標に対する達成度			100%					
	現在までの評価	-					最終評価			検証事業は計画通り実施された。 平成24年度も継続して効果検証を行う。					

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	シジミの生息環境改善対策													
4	関係課	産業振興課				関係者	湯梨浜町、鳥取県				実施主体	東郷湖漁業協同組合			
	実施計画	シジミの生息環境改善を目指し、覆砂を実施する。							財源の確保			一般財源：1/3 事業主体：2/3			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画							←→		←→				
		実績							←→		←→				
	実施の方針	鳥取県から砂の提供を受け、シジミの生息域に覆砂を実施し、環境改善を図る。							進捗状況・実績（事業効果）			県から砂の提供を受けることができたため、覆砂を実施。11月2日着工、1月31日事業完了。			
事業の目標	◆継続することで効果が表れることから、砂の確保について協力を行う。							目標に対する達成度			100%				
現在までの評価	-							最終評価			良質の砂の確保ができたことにより事業完了。しかし広大な東郷池の環境改善のためには、まだ相当の覆砂を行う必要がある。				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	内水面の環境保全												
5	関係課	産業振興課				関係者	湯梨浜町、鳥取県			実施主体	東郷湖漁業協同組合			
	実施計画	○東郷池クリーンアップ事業 東郷池の湖面・湖底のゴミを回収し、処理する。 東郷湖漁協を実施主体とし、船舶・ジョレン等により湖面及び湖底のゴミを回収する。						財源の確保			県補助金：1/3 一般財源：1/3 実施主体：1/3 (補助金名：鳥取県内水面漁場環境保全事業)			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画						←				→		
		実績							←				→	
実施の方針	東郷池の湖面・湖底のゴミを回収し、処理する。 平成21年度から継続実施している事業であり、湖底や沖に浮かぶゴミなど、回収が困難なものも取り除くことができるため、きめ細かな対応が可能となる。						進捗状況・実績 (事業効果)			県補助金が交付決定(10/26)、同日、町も交付決定。 10月27日着工、12月20日完了。 台風が連続して来襲し、池に流入する河川を經由して枯れ木、枯れ竹などが大量に流入したことから、やむを得ないこととはいえ、昨年の3倍以上の回収量となってしまった。 H23回収実績：66.8m³				
事業の目標	◆ゴミの回収量を前年の1割減とする。 平成22年度 21.6m³→平成23年度 19.4m³						目標に対する達成度			50%				
現在までの評価	-						最終評価			台風の影響により、目標達成できなかった。今年度をもって県補助金が終了することから、次年度以降どのように進めていくかを協議していきたい。				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	環境
目標	東郷池を昔の美しい姿に
数値目標	東郷池の水質（COD）4.5mg/l

No.	取組名	稚魚放流調査													
6	関係課	企画課				関係者	企画課				実施主体	東郷湖・天神川サケの飼育放流プロジェクト			
	実施計画	サケの飼育放流プロジェクトに町として協力参加する。活動状況はホームページ等で紹介し、環境浄化に向けた啓発と東郷湖活性化プロジェクト事業の取り組みを広く宣伝する。							財源の確保			既定予算で対応			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画									←→	←→	←→	←→	
		実績									←→	←→	←→	←→	
	実施の方針	12月上旬 発眼卵受取（予定） 3月中旬 放流（予定）					進捗状況・実績 （事業効果）			◆12月26日 発眼卵受け取り ◆3月11日～27日 天神川、東郷川、東郷湖へ放流 （役場、あさひ保育所、橋津保育所、松崎幼稚園、羽合幼稚園、東郷小、衛生環境研究所 ほか）					
事業の目標	◆事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開する。					目標に対する達成度			75%						
現在までの評価	-					最終評価			◆進捗状況をホームページで公開したが、全町の取り組みとして、幅広く周知、啓発することができなかった。						

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	池の産物料理メニュー化促進													
7	関係課	産業振興課					関係者	湯梨浜町商工会地域活性化委員会			実施主体	湯梨浜町商工会地域活性化委員会			
	実施計画	現時点で、特段の新規実施メニューなし。 新たな池の産物料理メニュー化について、町商工会等と検討していく。							財源の確保			特になし			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	←----- 湯梨浜町商工会ホームページにレシピ掲載。「ゆりはま市」、「ゆりはま大漁まつり」にてシジミを活用した料理の出品。町内の飲食店でメニュー化 -----→												
		実績	←----- 湯梨浜町商工会ホームページにレシピ掲載。レストラン吉華がシジミ料理メニュー化。9/11ゆりはま大漁まつりにて養生館が「鯉めし」を出品し周知。11/3地産地消フェアゆりはま市にて「鯉めし」や(株)プレマスペースがシジミを使用した「湯梨浜ちゃんぽん」を出品。 -----→												
実施の方針	湯梨浜町商工会ホームページで東郷池のシジミを活用した料理を広くPRする。 湯梨浜町主催の「ゆりはま市」、町商工会主催の「ゆりはま大漁まつり」にてシジミを活用した料理を出品し、観光客・住民等への周知を図る。						進捗状況・実績 (事業効果)			池の産物料理メニューとしてシジミ料理のレシピを開発した。種類は12種類で、レシピを湯梨浜町商工会ホームページに掲載しており、東郷池のシジミを活用した料理を広くPRしている。また、レストラン吉華では「シジミビーフン」、「シジミ炊き込みご飯」など、新メニューづくりに取り組んだ結果、メニュー化に成功。9/11開催のゆりはま大漁まつりにて養生館が「鯉めし」、「シジミ汁」を出品し広く周知を図った。11/3開催のゆりはま市では養生館の「鯉めし」のほか、(株)プレマスペースがシジミを使用した「湯梨浜ちゃんぽん」を出品。					
事業の目標	◆町内の飲食店でメニュー化を図る。 (池の産物を活用した料理のメニュー化)						目標に対する達成度			100%					
現在までの評価	-						最終評価			湯梨浜町商工会が池の産物料理メニューとしてシジミ料理のレシピを12種類開発している。レシピはホームページに掲載しており、東郷池のシジミを活用した料理を広くPRしている。また、民間の事業者もシジミや鯉を使ったメニュー作りに取り組んでおり、「鯉めし」は新たなメニューとして定着しつつある。					

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	カニバス事業														
8	関係課	産業振興課					関係者	はわい温泉・東郷温泉旅館組合			実施主体	はわい温泉・東郷温泉旅館組合				
	実施計画	はわい温泉・東郷温泉旅館組合事業で、冬季の誘客事業「カニバス」を実施中。							財源の確保			はわい温泉・東郷温泉旅館組合事業で実施				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
		計画														
		実績														
	実施の方針	カニバスツアーを従来どおり実施する。今年度はH23.12.17～H24.3.31の期間に実施予定。松崎地区の団体と連携し、街あるき新聞を作成・配付。旅館のみならず施設や飲食店への波及効果を狙う。							進捗状況・実績（事業効果）			<ul style="list-style-type: none"> ■12/17～3/31に実施。各方面へチラシを配布するなどしてPR。 ■松崎地区を中心として、東郷湖周辺を散策してもらうため、関係者で検討会を開催（10/26） 				
	事業の目標	◆カニバスツアーを通じて誘客促進を図るとともに、町内施設への波及効果を狙う。							目標に対する達成度			100%				
	現在までの評価	—							最終評価			<ul style="list-style-type: none"> ■ツアーとしては、前年を上回る集客実績となった。（H23：5,000人、H22：4,000人） ■松崎街あるき新聞を発行し、ツアー参加者を旅館から周辺地域へ周遊させることができた。 				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	特産品販売促進活動														
	関係課	産業振興課				関係者	産業振興課				実施主体	産業振興課				
	実施計画	<p>◆県や観光連盟等県全体の魅力を集約したもののひとつとしてイベントに参加するという形で、来場者への魅力創出を図る。</p> <p>◆町内の特産品を活用した土産物を開発する事業を町観光協会の地域づくりプランナーと連携し、展開する。</p>						財源の確保			町特産品PR事業として、旅費、販売促進チラシ印刷等479千円計上。その他、観光協会、とっとり梨の花温泉郷事業等経費で対応。					
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	計画		土産物試作品提出		試食・意見交換会 ⇒商品化決定・販売開始					イベント出展・PR（東京日本橋ほか）						
	実績			土産物試作品提出				9/11試食販売		試食・意見交換会実施		イベント出展・PR（東京）		商品お披露目会の開催		
9	実施の方針	<p>既定経費で対応。</p> <p>◆町単独事業として、東京や関西地区など効果の上がることを考慮に入れ、販売促進活動を検討していく。</p> <p>◆町内の農産物加工グループ・菓子業者等関係団体と連携を図り、町内の農産物や水産物を使った加工品（土産物）を開発する。</p>						進捗状況・実績（事業効果）			<p>■梨をまるごと1個使った「梨まるごとパイ」を試作し、現在パッケージデザインを製作。商品について、9/11ゆりはま大漁祭で試食販売行った。</p> <p>■12月に東京国際フォーラムで開催の物産イベントに出展。梨を使った新製品の試食販売を行った。</p> <p>■民間業者と連携して、梨関連商品を開発した。</p>					
	事業の目標	<p>◆新たな観光商品（新製品）造成について、特産品開発会議にて協議。生産から販売、PR方法を定め商品化を実現する。（1品以上）</p> <p>◆商品化したものについて、東京日本橋の（財）地域活性化センターイベントスペースに出展するなど、町の魅力として発信する。（年1回以上）</p>						目標に対する達成度			100%					
	現在までの評価	—						最終評価			■梨のコンフィチュール、飲むお酢、パイなど梨を使った新商品を開発できた。町内旅館や土産物店で販売していくこととなった。					

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	観光商品造成戦略活動												
	関係課	産業振興課				関係者	産業振興課				実施主体	産業振興課		
	実施計画	観光商品造成戦略会議や町観光協会地域づくりプランナーと連携し、新たな観光資源の掘り起こしに努める。既存観光商品である今滝「滝床料理」企画、東郷梨選果場見学ツアー、野花梅溪散策ツアーの継続宣伝や維持に努めるとともに、新たな観光商品の造成を図る。						財源の確保			◆観光商品造成戦略会議報償費 2,400円×7人×2日=33,600円計上。 ◆地域づくりプランナー事業（事務費含） 5,230,000円×2名=10,460,000円			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画		←		←		←		←		←		←		
実績		←		←		←		←		←		←		
				プランの検討・協議				観光商品造成戦略会議			旅行AGTへの売込・宣伝			
			滝床料理・梨選果場見学											野花梅溪散策
				プランの検討・協議				旅行AGTへの予告・宣伝						企画発表会開催
10	実施の方針	既定経費で対応。 ◆既存の着地型観光商品宣伝（情報説明会、観光客誘致宣伝キャラバンの実施）及び維持。 ◆新たな着地型観光プランを開発し、湯梨浜町の新たな魅力創出を図る。						進捗状況・実績（事業効果）			■来年が古事記編さん1300年にあたることから倭文神社を題材とした企画を検討。祭神である下照姫が容姿端麗でよい香りがしたとの伝承があることから、「かほり袋（香り袋）」を参拝アイテムとして製作。 ■8/10～12、10/20～21に旅行AGTを訪問し、同企画についてPR。JTB等の旅行会社で企画採用されることとなった。 ■3月22日に倭文神社と古代料理企画について、発表会を開催した。			
	事業の目標	◆新たな着地型観光プランを開発し、観光商品造成戦略会議に提案する。（1つ以上） ◆開発したプランについて、関係機関等と連携して旅行AGTの訪問等の宣伝活動を実施する。（年1回以上）						目標に対する達成度			100%			
	現在までの評価	—						最終評価			■旅行AGTへのPRを積極的に行い、滝床料理の利用者1,000人を超え、湯梨浜の知名度向上に貢献している。 ■倭文神社を素材とした新たな企画を立ち上げることができ、4月から受入を開始できる運びとなった。			

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	燕趙園遊覧													
11	関係課						関係者	燕趙園			実施主体	燕趙園			
	実施計画	燕趙園を発着とした東郷池遊覧を実施する。（要予約） 池から見る燕趙園や池周辺の景色、歴史をガイドの解説とともに楽しんでいただく。							財源の確保			燕趙園事業で実施			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	←-----→												
		実績	←-----→												
実施の方針	燕趙園発着で約1時間の遊覧。（中国茶・遊覧ガイド付） 4月～11月の毎週日曜日運行（12月～3月運休） 大人 1,000円 小人 500円（5歳未満の幼児は無料） 別途燕趙園の入園料が必要。							進捗状況・実績 （事業効果）			◆利用者数 7人				
事業の目標	◆利用者数 H22年度 73人→H23年度 100人							目標に対する達成度			20%				
現在までの評価	-							最終評価			◆広報不足もあり問合せ、予約が少なかった。 ◆個人単位での利用が中心で、少人数での運航になった。 ◆団体利用がベスト（団体利用なし） ◆悪天候のため運航中止あり。 ◆望湖楼からの運航は定期的にあります。				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	道の駅燕趙園												
	関係課	産業振興課				関係者	燕趙園			実施主体	燕趙園			
	実施計画	平成23年4月23日燕趙園の売店・レストラン周辺が「道の駅」として登録、オープンした。道の駅燕趙園の認定を契機に引地地区周辺の観光振興、地域の活性化に向けて取り組む。道の駅に求められる「情報発信機能」・「休憩機能」・「地域の連携機能」を柱に、地域の拠点施設として周辺の賑わいを創出する。実行委員会を立ち上げ、情報発信を充実するとともに、イベントや研修会を開催する。						財源の確保			既定予算で対応			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	計画					実行委員会設立		研修会・視察		イベント開催				
	実績							部会検討		ゆりはま市共催		道の駅感謝祭		
12	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆実行委員会を立ち上げて実施する。 ・道の駅の知名度を生かした情報発信 ・地産品の販売、PR ・イベント開催（燕趙園と共催） ◆「観る」・「食う」・「買う」の三つの柱で周辺の賑わいを創出する。 ◆湯梨浜町の魅力を情報発信し、地域経済への波及効果及び観光振興を図る。 ◆農産品の販売拠点の創出と地域特産品の情報発信を図る。 						進捗状況・実績（事業効果）			<ul style="list-style-type: none"> ◆実行委員会設立に向けて検討中 8月23日、道の駅担当者と活性化委員会について協議 9月21日、活性化意見交換会メンバーを協議 9月29日、地元店主（福羅酒造、伊藤畳店、三津国履物店）と意見交換 ◆入園者利用率40% ◆登録農家62戸 ◆道の駅感謝祭の開催（12月25日） ◆レストランを中心に季節毎にイベントを開催 ◆3Dシアター開催による賑わいを創出 ◆NHKテレビ紹介による反響（しじみ、野花の梅） 			
	事業の目標	拠点施設として、周辺の賑わいを創出する。 ◆道の駅利用者の促進を図る。（燕趙園入園者の50%） ◆農産物搬入者の促進を図る。（50農家以上）						目標に対する達成度			80%			
	現在までの評価	-						最終評価			<ul style="list-style-type: none"> ◆道の駅利用者は昨年度に比して大幅に増加 〔昨年度比170%（8月以降比較）〕 〔燕趙園利用者比率161%（年間）〕 ※ともに道の駅利用者積算による数値の比較 ◆農産物・加工品はまだ十分の品揃えとは言えないが、梨記念館の協力を得て、梨の通年販売を実施した。 			

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	ホワイトライアスロン in 湯梨浜													
	関係課	産業振興課	関係者	ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会実行委員会				実施主体	ホワイトライアスロン in 湯梨浜大会実行委員会						
	実施計画	東郷池の魅力向上、観光振興、地域の活性化に向けた取り組み。 東郷池及び東郷池周辺を活用し開催。 【一般、日本選手権中国ブロック予選会、日本学生選手権大会中国地区予選会】 スイム1.5km・バイク40km・ラン10km 定員 270名 【リレー】 スイム1.5km・バイク40km・ラン10km 定員 30組 【ジュニアA：中学生】 スイム0,375km・バイク11.5km・ラン2.5km 定員 30名 【ジュニアB：高校生】 スイム0,75km・バイク2						財源の確保			参加費、県補助金、町補助金、協賛金ほか				
13	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	選手募集	→		大会19日	←		大会開催の効果・検証	←		実行委員会			
			ボランティア募集	→		説明会5日	←			←					
		実績	選手募集	→		大会19日	←		効果・検証	監査	←		実行委員会		
ボランティア募集	→		説明会5日	←			←		課題・反省まとめ						
	実施の方針	実行委員会を立ち上げて実施 ◆WEBで選手募集（トライアスロン情報サイトから情報発信） ◆地域住民からボランティアを募集、地域住民の参画により地域の活性化を図る。 ◆コースを東郷池周辺に設定（東郷池の魅力アップ及び観光振興） ◆湯梨浜町の魅力を情報発信し、地域経済への波及効果及び観光振興を図る。						進捗状況・実績（事業効果）			◆参加選手 一般269人、学生19人、リレー6組、ジュニアA11人 ◆ボランティア 約470人 ◆宿泊 34人(事務局受付)、101人（組合報告）30人(倉吉市) 第4回大会開催を決定 平成24年6月16日（土）17日（日）				
	事業の目標	◆宿泊者の呼び込みを図る。（県外参加者の30%以上） ◆ボランティアの応募の推進する。（450人以上）						目標に対する達成度			◆宿泊数は30%以上 - 100% ◆ボランティア応募 - 100%				
	現在までの評価	-						最終評価			宿泊者は目標を達成したが、選手の家族・同伴者の宿泊者を増やす工夫が今後の検討課題。 地元中学生がボランティアとして100人以上が応募し、町の大会として関わりを持つ大会となった。 競技コースに迂回路が無いため、コースの検討及び選手の安全対策、沿道での応援者との両立が課題。				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	湯梨浜夏まつり													
14	関係課	企画課				関係者	湯梨浜夏まつり実行委員会、燕趙園			実施主体	湯梨浜夏まつり実行委員会、燕趙園				
	実施計画	地域に根付いた伝統行事や湖上花火大会など東郷池の魅力向上を図るとともに、地域活性化及び観光振興に向けた取り組みを実施する。						財源の確保			補助金、寄付金等				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画		←			→								
	実施スケジュール	実績		←			→								
				実行委員会	実行委員会	開催	開催								
実施の方針	実行委員会で祭りの内容等を決定、実施する。HP、観光雑誌などを通し、全国PRを行う。						進捗状況・実績（事業効果）			◆5月10日 第1回水郷祭実行委員会開催し、業務分担を確認。 ◆6月 HPアクセスカウンタ設定。 ◆6月～ 随時、実行委員会開催 ◆7月23日 湯梨浜夏まつり綱引き大会 開催 ◆7月24日 水郷祭 開催 ◆7月31日 とまり夏まつり 開催 ※6～8月アクセスカウンタ 2,691カウント【6月：338 7月：2,012 8月：341】					
事業の目標	◆湯梨浜夏まつりの認知度の向上させるため、湯梨浜夏まつりHPのアクセス数1,000以上（6～8月）						目標に対する達成度			100%					
現在までの評価	-						最終評価			HPの更新、各観光雑誌への情報提供、新規協賛企業の獲得に努め、積極的にPRを行った。					

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	中華コスプレ・プロジェクト														
	関係課						関係者	中華コスプレプロジェクト大会事務局	実施主体	中華コスプレプロジェクト大会事務局						
	実施計画	湯梨浜町及び東郷池畔にある中国庭園「燕趙園」の認知度を高めていくとともに、温泉地を中心とした観光振興等幅広い波及効果を期待する。							財源の確保			寄付、補助金、参加費等				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
計画			中華コスプレ日本大会							中華コスプレアジア大会						
実績			中華コスプレ日本大会							中華コスプレアジア大会						
15	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆全国から参加者を募り、幅広く湯梨浜町をPRする。 ◆若者の確保と交流人口の拡大を図る。 							進捗状況・実績 (事業効果)			<ul style="list-style-type: none"> ◆第10回中華コスプレ日本大会 平成23年5月28日(土)、29日(日)開催。 15都府県/58組/112名参加。 撮影会・交流会・コンテスト ◆第4回中華コスプレアジア大会 平成23年11月12日(土)、13日(日)開催。 韓国11名/日本各地144名参加。 撮影会・交流会・コンテスト 				
	事業の目標	参加者の増加を図り、本町及びイベントの魅力を発信する。 ◆参加者数を前年度以上とする。 (平成22年度日本大会：80名、アジア大会：140名)							目標に対する達成度			100%				
	現在までの評価	-							最終評価			<ul style="list-style-type: none"> ◆日本大会、アジア大会とも前年度実績を上回り、地域の風物詩として定着してきている。 ◆インターネットによる情報発信量の増大、参加者のインターネット上での口コミ(コスプレポータルサイト)、呼びかけが参加者の増加につながっている。 ◆参加者は、リピーター率が4割、半分以上が新規であり、インターネット戦略が新たな参加者の確保、掘り起しにつながっている。 ◆参加者のほとんどが県外者であり、イベント開催に伴い、直接、間接的に入込客(宿泊客数)の増加に貢献している。 				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	観光
目標	東郷池を観光振興の拠点に
数値目標	観光人口（宿泊客）年間20万人

No.	取組名	東郷湖ドラゴンカヌー大会												
	関係課					関係者	東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局	実施主体	東郷湖ドラゴンカヌー大会実行委員会事務局					
	実施計画	東郷湖の魅力向上、地域活性化、観光振興に向けた取り組みを実施する。						財源の確保			寄付、補助金、参加費等			
16	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画			← 参加者募集 →		← ドラゴンカヌー大会 →							
		実績			← 参加者募集 →		← ドラゴンカヌー大会 →							
	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種の部門設定により、幅広い参加者を募り湯梨浜町をPRする。 ◆今大会から会場をハワイ夢広場へ変更、屋台等を充実しながら参加者の満足度の向上を図る。（あやめ池スポーツ広場の地盤沈下の影響） 						進捗状況・実績（事業効果）			<ul style="list-style-type: none"> ◆第11回東郷湖ドラゴンカヌー大会 平成23年8月21日（日）開催。 平成23年6月10日（金）参加受付開始（～7月31日） ◆80チーム、800人の参加 			
	事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> 参加チームの増加を図り、幅広く東郷湖の魅力を発信する。 ◆参加チームを前年度以上とする。（第10回：102チーム） 						目標に対する達成度			80%			
	現在までの評価	-						最終評価			<ul style="list-style-type: none"> ◆競技運営及び参加者の安全性を確保するため、会場を変更。十分な宣伝、勧誘ができなかった。 ◆火気を使用する飲食（バーベキュー等）が禁止されたことにより、参加者の満足度の向上につながらなかった。（親睦の機会：かなり問い合わせあり） 			

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	産業
目標	東郷池の周辺環境を活かした農林水産業の振興を
数値目標	シジミ年間漁獲量200トン

No.	取組名	水源域森林育成作業												
	関係課	産業振興課				関係者	産業振興課			実施主体	産業振興課			
	実施計画	緑の産業再生プロジェクト事業による間伐事業等による森林整備の推進。 竹林整備事業の推進。 中部森林組合によるクヌギ分収造林の推進。						財源の確保			緑の産業再生プロジェクト事業補助金 鳥取県森林環境保全税関連事業（竹林整備事業）補助金			
17	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	森林組合等と調整・森林現況調査等			広報・PR		間伐事業・竹林整備事業等の実施						
	実績	← →			← →		←			→				
		森林巡視業務発注・森林組合等調整			町報(竹林整備)PR活動		緑プロ間伐事業実施・クヌギ分収造林(森林組合)実施			竹林整備事業実施				
	実施の方針	森林組合等と連携し、森林巡視調査を実施。森林、竹林所有者への広報、PRにより、事業実施の推進を図る。						進捗状況・実績（事業効果）			<ul style="list-style-type: none"> ◆森林巡視調査を発注し実施。 ◆緑の産業再生プロジェクト事業により、町内30ha（門田外）の間伐（不要木等の除去）事業を森林組合を主体として実施。 ◆森林組合による荒廃竹林を整備し、クヌギ分収造林の推進について、園地内で1.5ha実施。 ◆竹林整備事業について、町報等によりPRし、H23年度は、田畑、引地地内で0.48haを実施。 			
	事業の目標	◆竹林の整備2ha以上、森林間伐20ha以上の推進。						目標に対する達成度			80%			
	現在までの評価	-						最終評価			森林間伐等の森林環境の改善について、当初20haを見込んでいたが、30.08haの間伐が実施された。竹林整備事業については、県補助事業の配分が大幅に減額されたことにより、当初見込みよりも事業規模を縮小しての事業実施となった。竹林整備事業について、タケノコの産地育成と併せて推進していく必要がある。			

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	産業
目標	東郷池の周辺環境を活かした農林水産業の振興を
数値目標	シジミ年間漁獲量200トン

No.	取組名	エコファーマーの推進													
18	関係課	産業振興課				関係者	営農センター、倉吉農業改良普及所			実施主体	生産者				
	実施計画	環境にやさしい農業を営む農業者の認定推進。東郷湖に水質にも影響のある化学肥料や農薬の低減につなげていく。						財源の確保							
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	←						継続的な周知・指導			→			
		実績	←						継続的な周知・指導			→			
	実施の方針	将来的には「鳥取県特別栽培農産物認証制度」の特別栽培農産物への認証に向けて、レベルアップし、継続して推進を図っていく。						進捗状況・実績 (事業効果)			減農薬・減化学肥料の栽培暦作成完了。 エコファーマーも概ね全水田農家を認証。 (1,101人：H24.3現在)				
事業の目標	◆JA、普及所と協力し、継続的な周知・指導を行う。 ◆減農・減肥となる栽培暦の作成、推進を図る。						目標に対する達成度			100%					
現在までの評価	-						最終評価			農家をはじめ、JA、普及所と協力し、継続的な周知・指導を行ったことにより、減農薬・減化学肥料の栽培暦を作成するとともに、エコファーマーも概ね全水田農家を認証し、その人数は県内の約半数を占める結果であり、環境にやさしい農業として評価できる。					

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	観光ルート整備												
19	関係課	建設水道課				関係者	建設水道課			実施主体	建設水道課			
	実施計画	今滝へ大型観光バスでの乗り入れを可能とするため、町道今滝線の改良を実施する。						財源の確保			今年度休止中			
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画						休 止 中						
		実績												
	実施の方針	平成22年度の現地測量の結果、用地買収を要する箇所が判明した。そのため、平成22年度は用地交渉・買収を要しない箇所について工事完成を図ることとした。平成23年度は地籍調査を実施中のため、用地買収及び工事を平成24年度に行うこととする。(平成23年度は休止)						進捗状況・実績(事業効果)			用地買収を要しない箇所について、平成22年度の着工・完成が図られた。			
事業の目標	◆道路拡幅工事を実施することにより、大型観光バス等の利便性に寄与する。						目標に対する達成度			-				
現在までの評価	-						最終評価			-				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	東郷荘絵図活用導入事業															
	関係課	生涯学習・人権推進課				関係者	生涯学習・人権推進課				実施主体	生涯学習・人権推進課					
	実施計画	◆文化財解説ボランティアの育成事業 ◆文化財啓発講演会						財源の確保						既定予算で対応			
20	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
		計画			ボランティア研修 (町内文化財見学)			ボランティア研修 (県内先進地視察・講演会)		ボランティア研修 (町内文化財見学)					ボランティア研修 (町内文化財講座)		
		実績			6/15文化財見学会 (佐美を訪ねる)	7/6文化財見学会 (淀江を訪ねる)				11/14文化財見学会 (川上地域を訪ねる)		2/29湯梨浜町文化財ボランティアガイド研修会			3/11湯梨浜町歴史講演会		
	実施の方針	◆町内の貴重な文化財を解説するボランティア育成のため、研修会や視察等を実施する。 ◆平成20年から3ヵ年計画で東京大学史料編纂所が行った実地調査の研究成果に関する講演会を開催する(実施時期は調整中)						進捗状況・実績 (事業効果)						6/15ふるさと再発見湯梨浜学講座「佐美を訪ねる」実施24名。 7/6文化財見学会「淀江の文化を訪ねる」実施22名。 11/14ふるさと再発見湯梨浜学講座「川上地域を訪ねる」実施22名。 2/29 湯梨浜町文化財ボランティアガイド研修会実施16名。 3/11湯梨浜町歴史講演会「下地中分絵図の世界」(講師：東京大学歴史編纂所 助教 西田友広 氏) 実施58名。			
	事業の目標	◆恒常的な文化財解説ボランティアの配置。 ◆文化財研究成果の町内外に向け啓発。						目標に対する達成度						100%			
	現在までの評価	-						最終評価						事業計画は達成でき、内容的にも充実したものになったと思うが、全体的に参加者数が伸び悩んだ点に課題が残る。来年度は今年度受講者の中からボランティアガイドを輩出した。歴史講演会については、東郷荘絵図の重要性を改めて認識する良い機会となった。			

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	ゆりはま塾													
	関係課	企画課、生涯学習・人権推進課					関係者	企画課			実施主体	企画課			
	実施計画	町の歴史、伝統、自然等に関する講座で知識・技術等を習得し、次世代への継承を図る。広報、HPなどを通して住民にPRする。						財源の確保			既定予算で対応				
	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	計画														
	実績														
21	実施の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆講座開催 3回程度予定 ◆生涯学習・人権推進課と連携して事業を行う 						進捗状況・実績 (事業効果)			<ul style="list-style-type: none"> ◆第1期ゆりはま塾の反省点を洗い出し、第2期ゆりはま塾の実施計画を作成。 ◆9月13日 町長協議 (実施計画承認) ◆9月20日 要綱告示 ◆10月1日 広報10月号掲載、HP更新 ◆10月18日 第1次募集期限 (9名申込) 随時受付中 ◆11月2日 入塾式・オリエンテーション ◆11月14日 第1回ゆりはま塾開催 ◆12月5日 第2回ゆりはま塾開催 ◆12月22日 第1回学習会 (塾生主催) ◆2月22日 第2回学習会 (塾生主催) ◆2月29日 第3回ゆりはま塾開催 ◆3月11日 第4回ゆりはま塾開催 				
	事業の目標	◆東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承する塾生を10名以上育成する。						目標に対する達成度			90%				
	現在までの評価	-						最終評価			塾生9名で活動中。塾生が話し合って学ぶテーマを決定し、自主的な学習活動を展開している。引続き塾生へのサポートや生涯学習・人権推進課等と連携しながら年4回程度講座を開催していく。				

その後、塾生は10名集まりましたが、1月に都合により1名脱退されましたので、現在9名で活動しています。10名という目標には達していませんが、塾生は精力的に活動し始めていますので、甘いかもしれませんが90%ととしています。引続き塾生を募集していくよう声掛けはしておりますが、修了基準がありますので(講座等の出席率)、8月くらいで区切りをつける予定です。

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	資源
目標	東郷池周辺の地域資源を磨き次の世代への継承を
数値目標	各事業の目標値を90%以上達成

No.	取組名	藤津公園の地盤沈下対策												
	関係課	建設水道課				関係者	鳥取県			実施主体	鳥取県			
	実施計画	地盤沈下対策工事は、一部を次年度に繰り越し、平成24年7月末までの完了を目指す。							財源の確保			(県予算) ・平成23年6月定例会において、地盤沈下対策工事費が計上済。 ・予算の一部は、次年度に繰り越し。		
22	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		計画	←		詳細設計	→		←		→		改修工事	→	
		実績	←		詳細設計	→		←		→		改修工事	→	
	実施の方針	費用対効果等を検討した上で、関係団体の要望等を踏まえ事業を進めていく。					進捗状況・実績 (事業効果)			○関係団体等との意見交換 ・県カヌー協会、県グラウンド・ゴルフ協会、県トライアスロン協会、東郷湖ドラゴンカヌー実行委員会、湯梨浜町及び観光事業団に対して、多目的広場の改修方針や今後のスケジュールについて説明及び確認済。 ・メダカ池やあやめ池の改修方針についても、観光事業団及び東郷湖メダカの会に説明等及び確認済。 ○工事は、10月下旬から現地着手。 ○工事の一部は、次年度に繰り越し、平成24年7月末までの完了を目指す。				
	事業の目標	◆浸水区域を改修し、公園利用者の安全性及び利便性の向上を図る。					目標に対する達成度			60% (全体工事の進捗)				
	現在までの評価	-					最終評価			繰越事業のため100%の達成度とはならず。 10月下旬から造成工事に着手しており、概ね実施計画通りの進捗となっている。				

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	
目標	
数値目標	

No.	取組名	東郷湖活性化プロジェクト推進会議													
	関係課	企画課、町民課、産業振興課、建設水道課 生涯学習・人権推進課					関係者	各関係団体				実施主体	東郷湖活性化プロジェクト推進会議		
	実施計画	東郷湖をシンボルとした総合的な観光振興、農林水産業振興、環境施策及び文化等を推進する。また、活動状況をホームページ等で情報提供する。							財源の確保			既定予算で対応			
23	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画			↔	↔				↔	↔			↔	↔
		実績			↔					↔	↔	↔	↔	↔	↔
	実施の方針	事業を推進していく中で連携が必要なものは、随時調整、検討する。					進捗状況・実績 (事業効果)			<ul style="list-style-type: none"> ◆第1回推進会議 平成23年6月7日(火)開催。 ◆HP更新 ◆第2回推進会議 平成23年11月8日(火)開催。 【参考：東郷湖活性化へ向けた発展的な取り組み】 ◆第3回推進会議 平成24年3月29日(木)開催。 ◇第1回東郷湖・未来創造会議 平成23年8月5日(金)開催。 ◇ワーキングチーム会議(社会資本整備/観光・物産の活性化、顧客満足度開発/イベント・コンテンツ開発) 平成23年9月15日(木)～10月4日(火) 述べ5回開催。 ◇第2回東郷湖・未来創造会議 平成23年10月28日(金)開催。 ◇第3回東郷湖・未来創造会議 平成23年12月9日(金)開催。 					
	事業の目標	◆事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開する。					目標に対する達成度			100%					
	現在までの評価	-					最終評価			事業の進捗状況をホームページで公開し、活動内容の情報提供に努めた。					

平成23年度 東郷湖活性化プロジェクト事業実施計画

分野	
目標	
数値目標	

No.	取組名	東郷湖・未来創造会議													
	関係課	企画課（全課）				関係者	行政（町・県）、各関係団体、町民				実施主体	東郷湖・未来創造会議			
	実施計画	東郷湖周辺の地域資源を活用しながら、町民との協働による魅力あるまちづくりを推進するため、東郷湖・未来創造会議を設立。町民主導のワークショップとして様々な提案やアイデアを集約し、中長期的な発展戦略として事業展開する。						財源の確保				既定予算で対応			
23 1	実施スケジュール	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
		計画	東郷湖・未来創造会議体制整備		未来創造会議事前説明会		第1回会議(研修会) (全体会/Wグループ)		HP更新	第2回会議 (全体会/Wグループ)		HP更新	第3回会議(全体会/Wグループ)		シンポジウム
		実績	東郷湖・未来創造会議体制整備		未来創造会議事前説明会		第1回会議(研修会) (全体会/Wグループ)		Wグループ会	第2回会議 (全体会/Wグループ)		事業整理検討	シンポジウム検討・調整		シンポジウム
			委員公募		未来創造会議事前説明会		HP更新		内部評価	HP更新		町長協議	HP更新		HP更新
	実施の方針	本町出身の福井昌平氏を総合ファシリテーターに迎え、町民主導のワークショップとして展開。現状と課題、将来展望を踏まえ、東郷湖周辺の活性化、地域振興に向けた施策を、社会資本整備、観光・物産の活性化、イベント開発の視点に立ち、中長期的なビジョンで様々な意見、アイデアを集約する。						進捗状況・実績 (事業効果)				<ul style="list-style-type: none"> ◆第1回東郷湖・未来創造会議 平成23年8月5日（金）開催。 ◆ワーキングチーム会議（社会資本整備／観光・物産の活性化、顧客満足度開発／イベント・コンテンツ開発） 平成23年9月15日（木）～10月4日（火） 述べ5回開催。 ◆第2回東郷湖・未来創造会議 平成23年10月28日（金）開催。 ◆第3回東郷湖・未来創造会議 平成23年12月9日（金）開催。 ◆東郷湖～夢・創造～シンポジウム 平成24年3月25日（日）開催。 ◆HP更新、広報紙掲載（最終：シンポジウム報告） ◆各種調整 			
	事業の目標	◆事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開する。						目標に対する達成度				100%			
	現在までの評価	—						最終評価				<ul style="list-style-type: none"> ◆福井昌平総合ファシリテーターの指導のもと、町民主導のワークショップとして、将来におけるまちづくりの方向性について提言書を取りまとめた。 ◆会議の進捗状況のほか、取り組みのスタートとなるシンポジウムの内容をホームページ、広報紙により公開した。 ◆来年度以降、事業の具現化へ向けて取り組みを推進する。 			